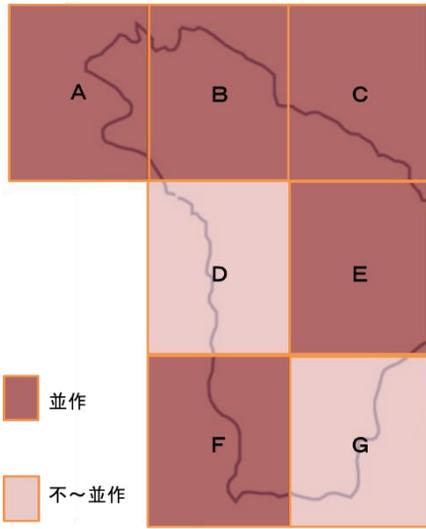


2016年どんぐり着果状況



あきる野市内のブナ科どんぐりの着果状況を7月28日から8月23日にかけて調査しました。

市の西側にあたる旧五日市町の森。昨年同様、全体の平均は並作です。ブナは昨年同様凶作、ミズナラは昨年並～豊作でしたが今年は不～並作、コナラは昨年同様並作です。奥山に自生するヤマグリが昨年凶作に近い不作でしたが今年は並作、人家付近の栽培種のクリ、オニグルミは並作です。

樹種	本数	着果状況
ブナ	5	凶
ミズナラ	78	不～並
クリ類	156	並
コナラ	134	並

森の子コレンジャーと調査



今年もコレンジャーと調査地の1地点で、ミズナラ、コナラ、クリ、アラカシの豊凶調査を実施しました。

調査地に着くと、虫が未熟な実に産卵して落としたどんぐりや野生動物の食痕を発見！どんぐりが様々な野生動物に利用されているのを感じてから調査開始です。

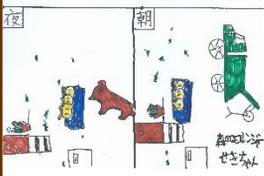
「コナラは葉っぱに隠れて難しい」「種類によって実や葉っぱの形が全然違うね」「どんぐりの種類って色々あるんだ」「カウント調査って楽しい！」

帰る途中、道路に落ちていたクリを一つ拾い、持ち帰ってみんなで生ぐりを食べてみました。野生動物の気持ちになってモグモグ・「あ、けっこういける！！野生動物が食べに出てくる気持ちがわかるね。でも、周りのイガイがどうやってむいたのかな…痛くないのかな。」



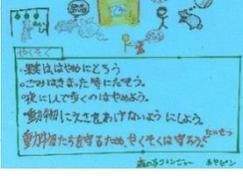
ゴミは決まった時に出しましょう。

ゴミを決めた時や日に出さないと、野生動物が近くまで来たりゴミの中にある食べ物の匂いやのり物をあてたりして、迷惑や病気の原因にはなりません。決まった時に出しましょう。



動物と人の命をを守ろう

動物は物にどうやって近づいたらいいかわからないので、動物が近づいたら逃げよう。



森にどんぐりなどがすくなくいときは、早くきをつけて！！



野生動物に食べ物をあたえてはいけません！！

あたえてしまうと、地域の人がかまります。

ザルなどへの食べ物をあげるのは、坏人その地域の人を困らせます。だからやめよう。

豊作物は早めにしりかきしよう！

早くしりかかないと「明日は放し」と言われるので、早くしりかきしよう！

調査を終えて、今年の結果と4年間の変動をみんなで見ました。実際に調査をしてみても、どんぐりやどんぐりから始まるつながりを知り、食べてみたことで、波(変動)があるからこそ多様な命が育つこと、自然と共に生きている人の大変さなどを少しだけ感じてくれたらいいな。

その後、「自然を変えるのではなく人の意識を変える」ために協力したい！と手を挙げてくれたら名が、人への注意喚起ポスター(左)を作ってくれました。地域の方だけではなく、あきる野市を訪れる方々の目に留まる場所にも掲示したいと思います。

- *カキやクリ、キウイなどの果実が実ったら収穫しましょう。
- *誘引物(廃棄果実、ゴミなど)は野外に放置しないように気をつけましょう。
- *野生動物への餌付けはやめましょう。
- *夜の一人歩きは控えましょう。

(加瀬澤)

見られています...

トンボ

コサナエ



私はいき野の1箇所では確認できていない種類です。レッドリストでは絶滅危惧種に指定され、レアなトンボです。

今年は例年と違い曇りの日が多かった夏でしたが、生き物たちはいつも通り一生懸命生きようとしていたことは例年と変わりませんでした。

今回は、春から秋まで飛び回るトンボたちのお話をします。種類により、色や模様、生息環境、活動時期が異なるトンボですが、あきる野には多様な自然があるため、様々な種類を見ることができます。河川敷周辺の水田で見られるイトトンボの仲間から、山々の稜線で見られるアカネなど、あきる野では、過去7年間に渡って52種類の生息を確認しています。トンボたちをよく観察すると、大変面白く、綺麗な種類も多い様に感じます。撮影してきたいいくつかの種類を紹介したいと思います。

ルリボシヤンマ



オスは、青と黄、黒からつくられる模様のコントラストや体の大きさに目立つ種類です。様々な環境で見られることから、やや見つけやすいトンボです。オニヤンマやよく似ているオオルリボシヤンマなどの大型トンボとの縄張りが重なると激しく争います。

エゾトンボの仲間で、森林中の池などの止水場に産卵します。あきる野で作ってきたいいくつかのビオトープで見られるようになったことは、嬉しく思っています。

タカネトンボ



ショウジョウトンボ



夏に河川敷や公園の池などで見られる真っ赤な「美トンボ」です。秋によく見られるアカネトンボと同様に赤トンボの代表です。

オオイトトンボ



どちらも絶滅危惧種に指定され、あきる野では限られた田んぼエリアでしか見られない種類です。イトトンボの仲間は非常に小さく、よく探さないとその存在に気付かないことがよくあります。小さいですが、どの種類もとても美しいです。

ミヤマアカネ



アカネトンボを代表する種類です。秋に山から平地などに下りてくるアキアカネ、またはナツアカネやヒメアカネなどと同様に、開放的な場所で数多く飛び回ります。アカネトンボたちは秋らしい風景には欠かせない存在です。

[パブロ]

キイトトンボ

